

●R7年度に地域協育ネットで取り組む課題について

背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
<p>小学校の児童98%が放課後子ども教室に登録しており、年間を通して活動しているが、活動を行う人材が不足している。</p>	<p>地域人材や各種団体との連携により、体験活動を行ってきた。</p>	<p>新たな地域人材の発掘や各種団体との連携により魅力ある体験活動を推進する。</p>	<p>長期休業中を中心に、魅力ある活動により児童の参加率を上げ、多様な体験の場を提供する。</p>	<p>長期休業中の活動の参加率。</p>	60	%	63	57	<p>本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる</p> <p>地域の人材不足は避けられない状況で、放課後子ども教室の講座内容もマンネリ化していることが否めない。今後は子どもにとってどんな体験活動が求められているか、アンケートを実施し、ニーズの把握をしたい。</p>
<p>学校支援ボランティアの協力は充実しているが、地域クラブへのボランティア登録は少ない。</p>	<p>PTA総会や学校行事でボランティア登録を呼びかけてきた。</p>	<p>クラブ活動をしている子どもの保護者にボランティアの募集を呼びかける。</p>	<p>保護者の地域クラブのボランティア登録数を増やすことで、学校・家庭・地域の連携を深める。</p>	<p>保護者の地域クラブのボランティア登録数。</p>	3	人	5	3	<p>本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる</p> <p>地域クラブの設立の見通しがたっていなかったことで、ボランティアの登録数も増えなかったと考えられる。地域クラブ設立のための体制整備をまずは実施すべきである。</p>